

最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出は5ヶ月ぶりで対前年比プラス～

日本機械輸出組合 2012. 4. 19.

平成24年2月の機械輸出額は、3兆6,606億円、対前年同月比0.3%増と5ヶ月ぶりのプラスとなった。これは、①営業日が2日多かったこと、アジアの春節が1月にずれ込んだこと、②北米が2ヶ月前と機械輸出全体を牽引した他、NIES/ASEAN、その他地域がプラスへ転じたこと、③機械輸出額の1/3を占める自動車がマイナスからプラスに転換したことが主因である。

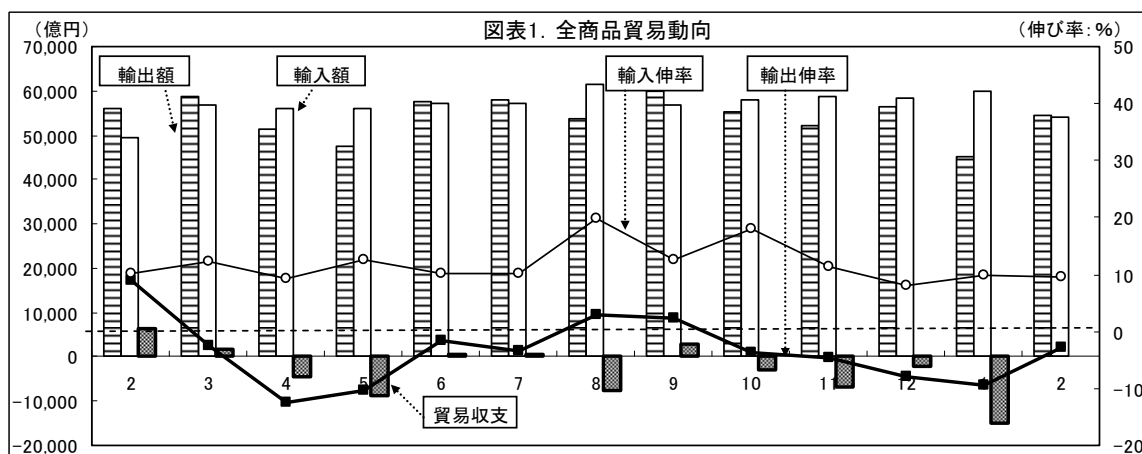
3月については、円安により2.2%の円建減少要因となったが、営業日が前年に比べ1日少ないこと、から為替・営業日で6.7%の減少要因となり、為替、営業日要因のみを考慮すれば7%程度の減少が予想される。3月の全商品輸出は、昨年3月の輸出が大震災で落ち込んだため、前年比5.9%増となった。

1. 全商品貿易動向～輸出は5ヶ月連続でマイナス、貿易収支は5ヶ月ぶりの貿易黒字～

1)平成24年2月の全商品輸出額は5兆4,384億円、前年同月比(以下同じ)2.7%減と5ヶ月連続のマイナスとなった(1月9.3%減)。これは、全輸出額の約10%を占める化学製品(14.9%減)、約13%の鉄鋼等原料別製品(6.4%減)、約17%の電気機器(3.4%減)等がマイナスになったことによる。なお、25%を占める輸送用機器は5.4%増となった。

2)輸入額は5兆4,090億円、9.6%増と高い水準にあり2年2ヶ月連続で増加となった(1月9.9%増)。これは、全輸入額の約39%を占める原油・ガス等鉱物性燃料(23.4%増)が依然高水準の伸びを続けているほか、約12%の電気機器(7.3%増)、3%の輸送用機器(23.8%増)が増加したためである。

3)この結果、2月の貿易収支は294億円と、平成23年9月以来、5ヶ月ぶりの貿易黒字となった。

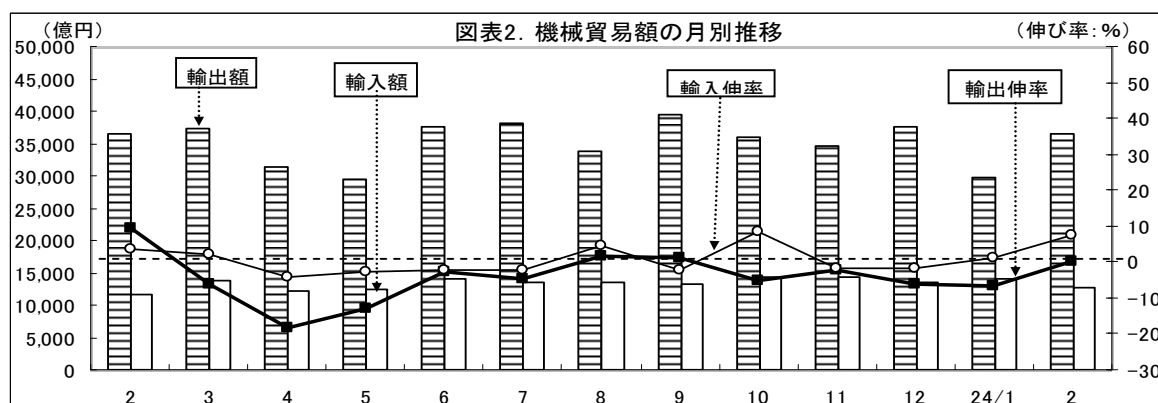


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は5ヶ月ぶりにプラス～

1)全商品輸出額の約67%を占める2月の機械輸出額は3兆6,606億円、0.3%増と微増ながら5ヶ月ぶりにプラスとなった(1月6.6%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成20年2月の77%と前月から9ポイント改善した(1月68%)。

2)一方、全商品輸入額の23%を占める機械輸入額は、1兆2,593億円、7.7%増と2ヶ月連続でプラスとなった(1月1.0%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の85.1%と前月より3.8ポイント上昇した(1月81.3%)。

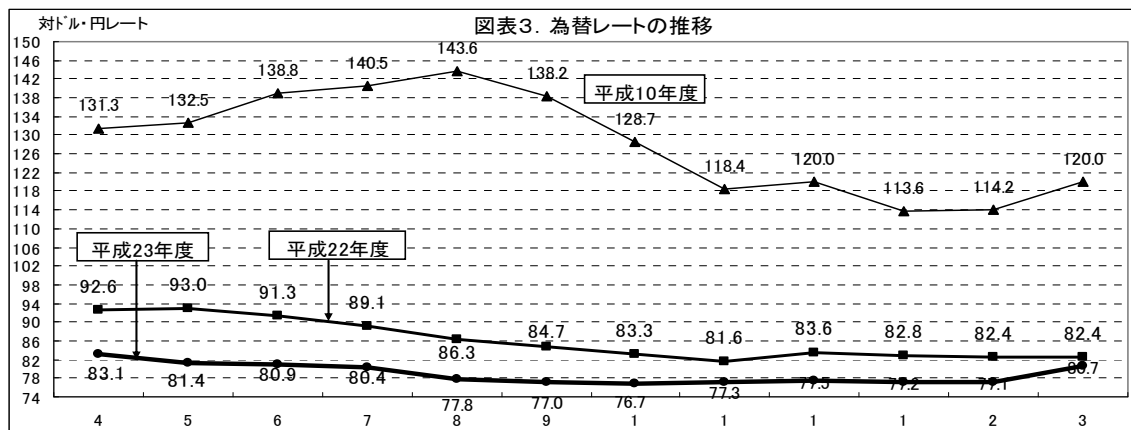


(2) 為替動向・営業日～2月は11%の為替・営業日増加要因、3月は6.7%の減少要因～

1) 2月は1ドル=77.2円とほぼ前月横ばいとなったが、前年比6.3%の円高となり、また、対ユーロ=100.8円では10.4%と円高が進み、合計4.2%の為替減少要因となった。一方、営業日は前年に比べ2日多く、また中華圏は更に4日多く、15.3%増となり、合計11.0%の増加要因となる。このため、2月の機械輸出は0.3%増であったが、為替・営業日要因を除く実質伸び率は10.7%減と再び大幅な減少となった(1月1.8%増)。

2) 3月は1ドル=80.7円と円安となったが、前年比2.1%の円高であり、また、対ユーロ=106.7円では6%の円高となり、合計2.2%の僅かな為替減少要因となった。一方、営業日は前年に比べ1日少なく、4.5%の減少要因となり、合計6.7%の減少要因となる。

3) 4月は、対ドルが現状の81円台とすれば2.5%の円高となり、また、対ユーロが現状の107円とすれば8.9%の円高となり、合わせると2.1%の為替減少要因に止まる。営業日は前年と同じで、合計2.1%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～北米向けは2ケタ増、中国、EU向けは3ヶ月連続2ケタ減～

1) 機械輸出が増加した地域的要因は、①機械輸出額の23%を占める北米向けで、輸出額の51%占める自動車(18.7%増)が大幅増となったほか、建設機械(64.2%増)、工作機械(61.0%増)、重電気機械(21.3%増)等が寄与して14.7%増と4ヶ月連続でプラス成長となったこと、②27%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、タイ、インドネシア、フィリピンが2ケタの大幅増となり、業種では、韓台向け産業機械、電子デバイス、ASEAN向け自動車、産業機械が増加し、4.5%増となったこと、③約21%を占めるその他地域向けでは、中南米、中近東、インド向けが2ケタ増となり、機種では、全体の54%を占める自動車(4.5%増)、同約11%の産業機械(22.1%増)、工作機械(61.2%増)の増加が寄与して4.5%増となったことによる。

2) 他方、①機械輸出額の17%を占める中国向けは、全体の19%を占める半導体製造装置等産業機械(25.8%減)、17%の自動車(9.9%減)、民生用電子部品(15.9%減)、建設機械(58.1%減)等が大幅に減少し、15.7%減と5ヶ月連続マイナスとなった、また、②約12%を占めるEU向けでは、全体の30%を占める自動車(19.8%減)、約19%の産業機械(10.6%減)等の減少が響き11.9%減と大幅な減少となった。

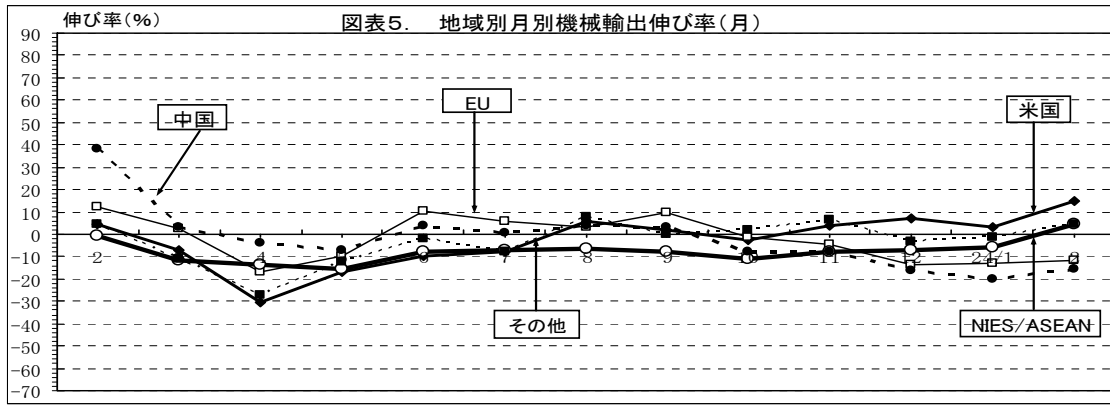
3) リーマンショック前の平成20年2月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは中国のみで、NIES/ASEANが80%台、その他の地域、北米が70%台、EUは50%台に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2011/12			2012/1			2012/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,496	▲ 6.2	100	29,838	▲ 6.6	100	36,606	0.3	100	0.77
北米	8,857	7.4	23.6	6,600	3.4	22.1	8,429	14.7	23.0	0.77
EU	4,336	▲ 13.4	11.6	3,674	▲ 12.8	12.3	4,213	▲ 11.9	11.5	0.51
NIES/ASEAN	10,340	▲ 7.3	27.6	8,142	▲ 6.1	27.3	9,966	4.5	27.2	0.84
中国	6,766	▲ 16.5	18.0	4,557	▲ 20.2	15.3	6,221	▲ 15.7	17.0	1.08
その他	7,197	▲ 3.5	19.2	6,866	▲ 1.6	23.0	7,778	4.5	21.2	0.73

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2011/11		2011/12		2012/1		2012/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,643	▲ 5.4	1,994	▲ 1.9	1,605	▲ 0.8	1,817	▲ 6.6
台湾	1,561	▲ 15.4	1,631	▲ 19.7	1,129	▲ 30.8	1,552	▲ 14.3
香港	1,312	▲ 16.4	1,507	▲ 20.4	1,177	▲ 8.5	1,341	▲ 8.0
タイ	1,204	▲ 21.8	1,444	▲ 14.1	1,349	▲ 0.5	1,890	▲ 22.1
シンガポール	907	▲ 12.6	980	5.5	721	▲ 19.7	759	▲ 7.7
インドネシア	942	39.0	996	15.5	769	42.5	856	25.3
マレーシア	706	▲ 5.1	735	▲ 22.9	613	▲ 8.4	749	▲ 4.3
フィリピン	485	▲ 1.7	586	18.4	471	6.9	551	▲ 31.3
ベトナム	294	20.0	375	18.7	221	9.4	325	24.9
その他地域								
中南米	2,449	13.5	2,018	▲ 20.8	2,476	▲ 1.5	2,364	15.2
中近東	1,191	▲ 5.8	1,379	▲ 13.0	1,216	10.6	1,648	12.9
大洋州	1,065	4.7	1,227	27.1	1,119	3.1	1,202	5.2
ロシア東欧等	1,079	13.6	1,034	1.3	913	▲ 16.1	1,291	▲ 4.8
アフリカ	639	▲ 8.2	814	18.8	599	▲ 21.9	633	▲ 20.6
インド	446	5.7	551	15.8	380	27.6	488	12.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～自動車、船舶、光学機械、工作機械等 5 業種でプラス～

1) 業種別では、全 19 業種中プラスとなったのが 5 業種で、前月より 3 業種増加した。全体の 35% を占め機械輸出を下支えしている自動車(4.3%増)が 3 ヶ月ぶりにプラスとなったほか、船舶(3.8%増)、光学機械(3.1%増)、工作機械(22.1%増 2 年 1 ヶ月連続)、産業車両(3.7%増)が増加となった。他方、電子デバイス(5.9%減 14 ヶ月連続)、軽電気機械(11.4%減 5 ヶ月連続)、民生用電子機械(6.2%減 12 ヶ月連続)、通信機械(2.9%減 14 ヶ月連続)、電子計算機(1.6%減 20 ヶ月連続)等がマイナスとなったが、いずれも減少幅を大きく縮小させている。

2) この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが工作機械、医療機械の 2 業種で、民生用電子機械、通信機械、電子計算機、繊維機械、農業機械、産業車両は 30～50% 台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2011/12			2012/1			2012/2			対08/2比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	12,362	▲ 4.9	33.0	自動車	9,754	▲ 0.7	32.7	自動車	12,664	4.3	34.6	0.73
産業機械	6,822	▲ 8.8	18.2	産業機械	4,906	▲ 14.1	16.4	産業機械	6,646	▲ 0.6	18.2	0.88
電子デバイス	2,917	▲ 13.0	7.8	電子デバイス	2,300	▲ 15.6	7.7	電子デバイス	2,721	▲ 5.9	7.4	0.72
船舶	1,414	▲ 10.3	3.8	船舶	2,470	▲ 8.3	8.3	船舶	1,621	3.8	4.4	0.90
軽電気機械	2,078	▲ 4.5	5.5	軽電気機械	1,419	▲ 14.2	4.8	軽電気機械	1,710	▲ 11.4	4.7	0.70
民生用電子機械	1,443	▲ 22.8	3.8	民生用電子機械	1,272	▲ 12.0	4.3	民生用電子機械	1,538	▲ 6.2	4.2	0.53
重電気機械	1,857	▲ 4.5	5.0	重電気機械	1,350	▲ 6.6	4.5	重電気機械	1,744	▲ 2.1	4.8	0.86
軽機械	1,460	5.5	3.9	軽機械	1,016	▲ 3.7	3.4	軽機械	1,272	▲ 0.3	3.5	0.74
光学機械	1,303	▲ 0.9	3.5	光学機械	987	▲ 5.9	3.3	光学機械	1,169	3.1	3.2	0.98
建設機械	1,354	9.0	3.6	建設機械	1,046	13.3	3.5	建設機械	1,242	▲ 1.1	3.4	0.84
工作機械	961	22.1	2.6	工作機械	657	30.8	2.2	工作機械	933	22.1	2.5	1.11
通信機械	467	▲ 20.1	1.2	通信機械	391	▲ 15.1	1.3	通信機械	455	▲ 2.9	1.2	0.52
電子計算機	452	▲ 16.9	1.2	電子計算機	346	▲ 15.3	1.2	電子計算機	418	▲ 1.6	1.1	0.39
ベアリング	388	▲ 4.8	1.0	ベアリング	285	▲ 13.3	1.0	ベアリング	345	▲ 10.0	0.9	0.97
陸用内燃機関	423	▲ 1.8	1.1	陸用内燃機関	295	▲ 10.1	1.0	陸用内燃機関	387	▲ 10.2	1.1	0.91
医療機械	337	▲ 9.8	0.9	医療機械	224	▲ 14.6	0.8	医療機械	295	▲ 3.9	0.8	1.12
繊維機械	174	▲ 22.3	0.5	繊維機械	118	▲ 19.4	0.4	繊維機械	179	▲ 24.7	0.5	0.59
農業機械	158	▲ 8.0	0.4	農業機械	117	▲ 18.0	0.4	農業機械	148	▲ 3.0	0.4	0.59
産業車両	136	▲ 2.8	0.4	産業車両	99	▲ 2.8	0.3	産業車両	132	3.7	0.4	0.57
19業種合計	36,506		97.4	19業種合計	29,052		97.4	19業種合計	35,619		97.3	0.76

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～電子応用装置、原動力機械、発電機は好調、繊維機械、運搬機械は大幅減～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、①韓国・台湾、北米、EU 等向け電子顕微鏡等**電子応用装置(77.0%増)**、②北米、ASEAN、その他地域等向け**原動力機械(35.7%増)**、③北米、ASEAN、中国等向け**発電機(25.6%増)**、④ASEAN、北米、その他地域等向け**工作機械(22.1%増)**、⑤北米、ASEAN、その他地域等向け**貨物自動車(19.9%増)**、ASEAN、北米、その他地域等向け**金属加工機(18.7%増)**となっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(24.7%減)、運搬機械(15.1%減)、民生用電気機械(13.5%減)、半導体製造装置(12.0%減)、民生用電子部品(11.9%減)、軽電気機械(11.4%減)、陸用内燃機関(10.2%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/12			2012/1			2012/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	961	22.1	工作機械	657	30.8	電子応用装置	64	77.0
金属加工機	366	18.5	金属加工機	214	21.0	原動力機械	499	35.7
貨物自動車	878	16.6	貨物自動車	650	20.4	発電機	119	25.6
産業用ロボット	112	16.0	産業用ロボット	83	10.5	工作機械	933	22.1
分析・試験・検査機	817	11.9	建設機械	1,046	13.3	貨物自動車	816	19.9
建設機械	1,354	9.0	機種合計	2,650	8.9%	金属加工機	298	18.7
時計	111	8.2				機種合計	2,729	7.5%
風水力機械	794	7.0						
機種合計	5,393	14.4%						

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/12			2012/1			2012/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
デジカメ	416	▲ 32.6	半導体製造装置	1,090	▲ 31.5	繊維機械	179	▲ 24.7
TV	76	▲ 25.3	電子応用装置	25	▲ 28.1	運搬機械	205	▲ 15.1
繊維機械	174	▲ 22.3	原動力機械	297	▲ 27.5	民生用電気機械	281	▲ 13.5
半導体製造装置	1,397	▲ 20.2	録画・再生機器	11	▲ 21.9	半導体製造装置	1,374	▲ 12.0
民生用電子部品	713	▲ 19.7	繊維機械	118	▲ 19.4	民生用電子部品	689	▲ 11.9
電子計算機	452	▲ 16.9	農業機械	117	▲ 18.0	軽電気機械	1,710	▲ 11.4
運搬機	218	▲ 14.2	時計	58	▲ 16.7	陸用内燃機関	387	▲ 10.2
電子デバイス	2,917	▲ 13.0	電子デバイス	2,330	▲ 15.6	機種合計	4,825	13.2%
ラジオ	13	▲ 12.9	電子計算機	346	▲ 15.3			
船舶	1414	▲ 10.3	医療機械	224	▲ 14.6			
機種合計	6,363	18.4%	機種合計	4,616	15.5%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～携帯、乗用車は依然大幅増、電子計算機はマイナスからプラスへ～

- 1) 2月の機械輸入伸び率は7.7%増と2ヶ月連続でプラスとなったが、その要因は、二大輸入機種である電子計算機(11.7%増)がマイナスから一転2ケタの大幅増となった他、携帯電話(84.7%増、2年7ヶ月連続)、乗用車(42.1%増、7ヶ月連続)が2ケタの大幅増を続けていることなどによる。
一方、二大輸入機種である電子デバイス(7.2%減)はマイナスが続いている他、光学機械(19.5%減)は2ケタの大幅な落ち込みとなった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、医療機器、TV、白物家電、時計、エアコン、ラジオ、録画・再生機器となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、中国(13.0%増)、ASEAN(4.1%減)、EU(16.7%増)、北米(9.0%増)、韓国・台湾(1.6%増)、その他(6.6%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/12				2012/1				2012/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,626	▲ 5.0	12.1	電子計算機	1,496	▲ 16.5	10.7	電子計算機	1,625	11.7	12.9
電子デバイス	1,382	▲ 11.0	10.3	電子デバイス	1,367	▲ 18.9	9.8	電子デバイス	1,277	▲ 7.2	10.1
携帯電話	875	100.9	6.5	携帯電話	861	96.7	6.2	携帯電話	751	84.7	6.0
乗用車	675	15.7	5.0	自動車部品	696	8.9	5.0	乗用車	631	42.1	5.0
自動車部品	625	3.5	4.7	重電気機械	625	▲ 5.9	4.5	自動車部品	584	10.6	4.6
重電気機械	573	▲ 6.0	4.3	乗用車	616	31.9	4.4	重電気機械	543	3.4	4.3
白物家電	474	▲ 5.3	3.5	航空機	528	34.9	3.8	医療機器	464	2.2	3.7
医療機器	423	▲ 1.9	3.2	白物家電	512	7.0	3.7	白物家電	389	3.9	3.1
TV	379	▲ 46.6	2.8	医療機器	429	▲ 4.9	3.1	航空機	320	1.0	2.5
民生用電子部品	290	▲ 12.2	2.2	光学機械	337	▲ 6.9	2.4	分析・試験・検査機	303	10.4	2.4
光学機械	279	▲ 16.2	2.1	民生用電子部品	301	▲ 10.4	2.2	光学機械	264	▲ 19.5	2.1
分析・試験・検査機	265	3.8	2.0	TV	285	▲ 52.2	2.0	民生用電子部品	254	4.6	2.0
12機種合計	7,866		58.6	12機種合計	8,053		57.7	12機種合計	7,405		58.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械